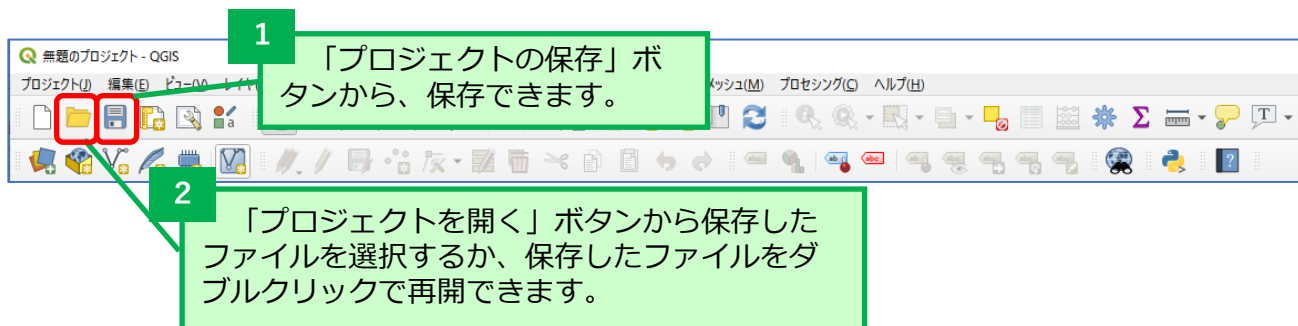


<QGIS : こんなときどうする?>

① 作業の途中で経過を保存したい

一般的なソフトウェアと同様に、「プロジェクトの保存」、「プロジェクトを開く」から作業の中断、再開ができます。



② 特定の市町村のみの地図を切り出したい

地図の属性情報から、該当市町村以外の地域を選択して削除します。

1 レイヤパネルで集落境界を右クリックし、「属性テーブルを開く」をクリックします。

2 「式による地物選択」をクリックします。

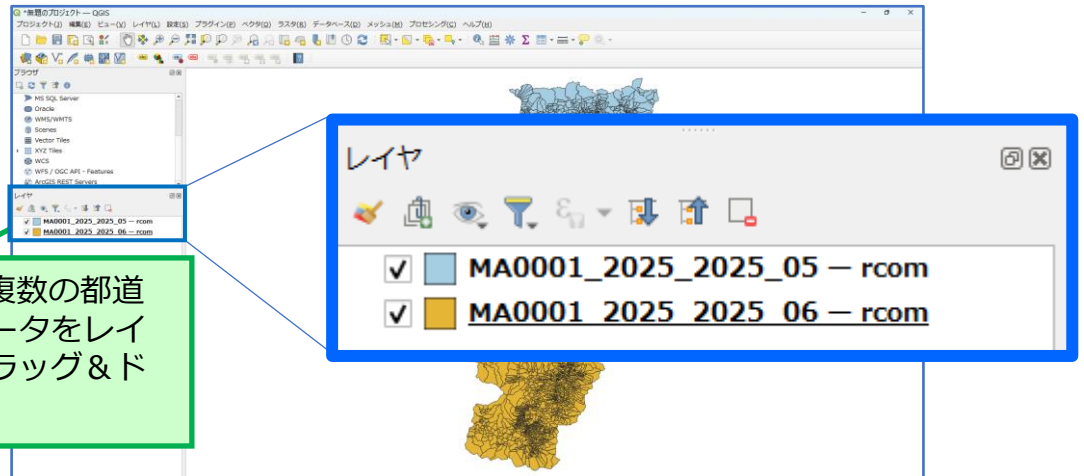
3 残したい市町村番号を指定して下の「地物の選択」をクリックします。
例：CITY=201

4 ①「選択部分を反転する」、②「編集モード切替」、③「選択地物を削除」の順にクリックします。③で指定した市町村のみが残ります。最後に「編集モード切替」で編集モードを終了します。

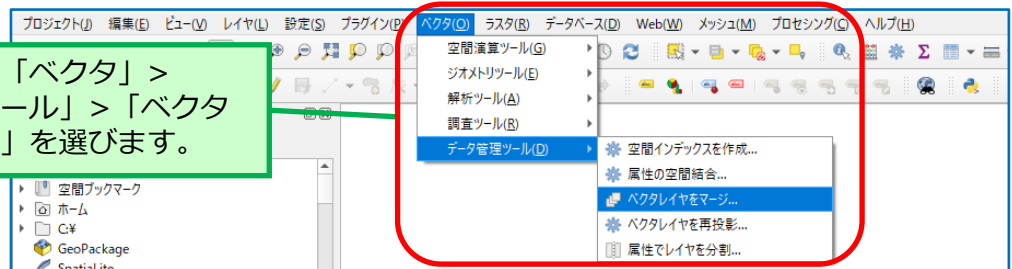
KEY	PREF	CITY	KCITY	RCOM	PREF_NAME	CITY_NAME	KCITY_NAME	RCOM_NAME	データファイル_KEY
0620309008	06	203	09	008	山形県	鶴岡市	上郷村	中沢	0620309008
0620312001	06	203	12	001	山形県	鶴岡市	大山町	中橋	0620312001
0620312002	06	203	12	002	山形県	鶴岡市	大山町	下小中	0620312002
0620312010	06	203							
0620311999	06	203							
0620312009	06	203							
0620312006	06	203							
0620312007	06	203							
0620310005	06	203							

③ 複数の都道府県を1つの地図レイヤにしたい

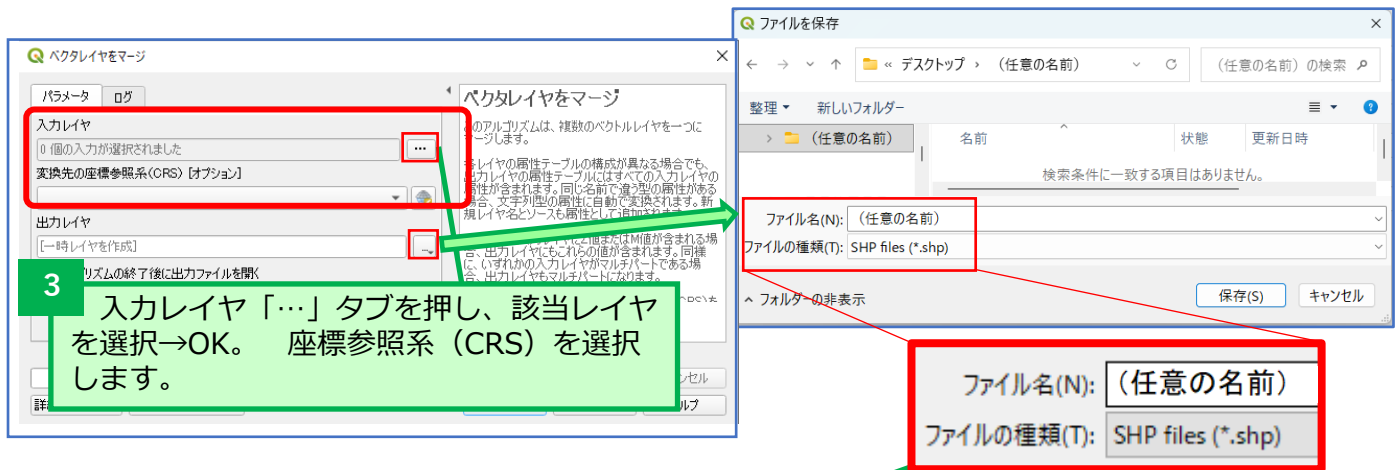
1 結合したい複数の都道府県の境界データをレイヤパネルにドラッグ&ドロップします。



2 メニューから「ベクタ」>「データ管理ツール」>「ベクタレイヤをマージ」を選びます。

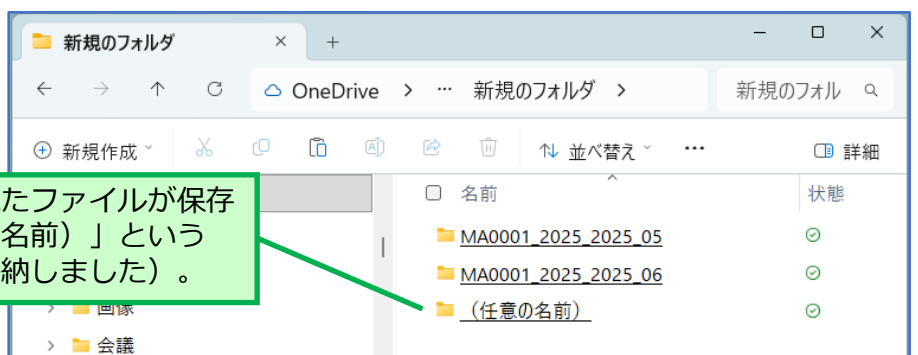


3 入力レイヤ「…」タブを押し、該当レイヤを選択→OK。座標参照系 (CRS) を選択します。



4 出力レイヤ「…」タブを押し、「ファイルを保存」から保存先を選択します。保存するフォルダを作成しフォルダ名 (任意) 及びファイル名 (任意) を入力します。「ファイルの種類」を「SHP files (*.shp)」とし、「保存」>「実行」をクリックします。

5 選択した保存先に結合されたファイルが保存されます (例では「(任意の名前)」というフォルダを作成し、ここに格納しました)。



④ 地図を印刷したい

用紙のイメージ上に地図や凡例を配置して、印刷を行います。

1 「新規印刷レイアウト」をクリックします。

2 OKをクリックします。

3 白紙のレイアウト画面が開くので「地図を追加」をクリックして、画面左上角から右下角に向かって四角形を描きます。

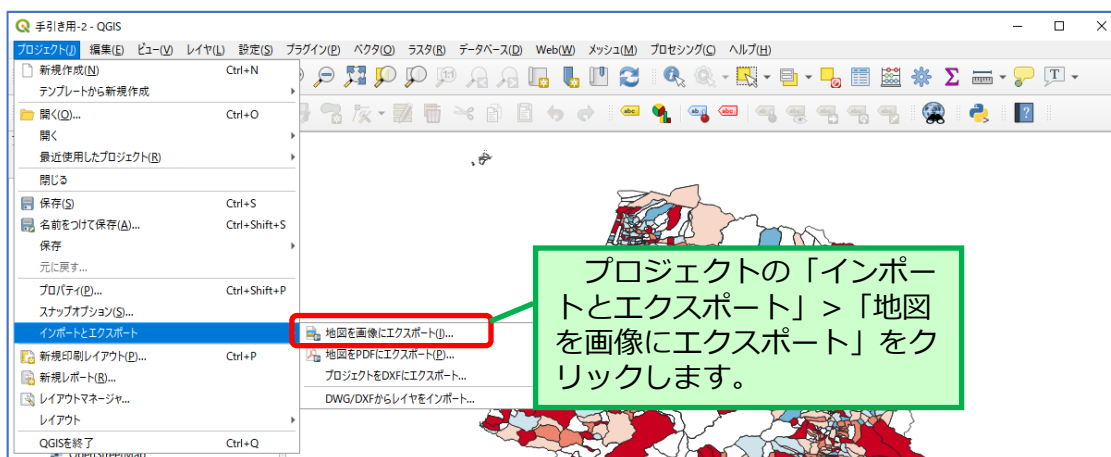
4 「凡例を追加」をクリックして、地図と同じ要領で画面上に配置します。

5 (ア) アイテム（追加した地図や凡例など）を右クリックし「アイテムプロパティ」を選択し、それぞれの表示を調整します。
(イ) 用紙の設定は、地図の描画領域上で右クリックし、「ページのプロパティ」を選択しここで設定します。

6 (ウ) 印刷します。
(エ) PDFや画像形式でも保存できます。

⑤ 地図を画像として保存したい

作業中の地図を画像ファイルとして出力します。凡例や縮尺をつけた画像ファイルが必要な場合は、「地図を印刷したい」の項目を見てください。



⑥ 属性データが数値として扱えない

CSVファイルから文字列としてQGISに取り込まれた項目を数値に変換し、新しい属性データとして追加します。

1 レイヤパネルで集落境界をダブルクリックし「フィールド」を選択します。

2 「フィールド計算機」ボタンをクリックします。

テキスト(string) : 文字列
整数(64bit) : 整数
倍精度(double) : 小数点付き数値

3 「新規フィールドを作成」にチェックが入っていることを確認、「出力する属性(フィールド)の名前」は数値に変換したい項目の名前(任意の名前)を入力し、「フィールド型」は「小数点付き数値(real)」を選択します。

4 式に「**to_real("【項目名】")**」と入力し、OKを押すと、データ変換した項目が追加されます。

項目名は、「フィールドと値」から選択できます。

Id	名前	別名	型	型名	長さ	精度
abc 0	KEY		テキスト (string)	String	12	0
abc 1	PREF		テキスト (string)	String	2	0
abc 2	CITY		テキスト (string)	String	3	0
abc 3	KCITY		テキスト (string)	String	3	0
abc 4	RCOM		テキスト (string)	String	3	0
abc 5	PREF_NAME		テキスト (string)	String	30	0
abc 6	CITY_NAME		テキスト (string)	String	30	0
abc 7	KCITY_NAME		テキスト (string)	String	30	0
abc 8	RCOM_NAME		テキスト (string)	String	40	0
abc 9	RCOM_KANA		テキスト (string)	String	64	0
121 10	HININTEI		整数 (64bit)	Integer64	10	0
1.2 11	基幹的農業従事者_49歳以下割合		倍精度 (double)	double	10	3
12	基幹的農業従事者_49歳以下割合		テキスト (string)	text	0	0

⑦ 取り込んだデータから分析指標を作成したい

農業集落境界とリンクしたデータを組み合わせて、分析に用いる変数を作成します。

1 レイヤパネルで集落境界をダブルクリックし「フィールド」を選択します。

2 「フィールド計算機」ボタンをクリックします。

3 「新規フィールドを作成」にチェックが入っていることを確認、「出力する属性(フィールド)の名前」に任意の名前を入力し、「フィールド型」を「小数点付き数値(real)」にします。

式に変数を作成する数式を入力します。

項目名は、「フィールドと値」から選択できます。

フィールド計算機画面の「新規フィールドを作成」セクションには、出力する属性(フィールド)の名前、フィールド型、フィールド長、精度が設定されています。

フィールド計算機画面の「フィールドと値」リストには、以下の変数が表示されています：

- "データファイル_男女_15～19歳"
- "データファイル_男女_20～24"
- "データファイル_男女_25～29"
- "データファイル_男女_30～34"
- "データファイル_男女_35～39"
- "データファイル_男女_40～44"
- "データファイル_男女_45～49"
- "データファイル_男女_計"

⑧ 集落の名称を表示したい

集落境界レイヤの表示設定を行って、農業集落名称を表示させます。

1 レイヤパネルで集落境界をダブルクリックします。

2 単一定義を選択して値に「RCOM_NAME」(農業集落名)を設定します。

レイヤパネルで「集落境界」レイヤが選択されていることが確認できます。

レイヤプロパティダイアログの「単一定義」タブでは、「値」フィールドに「RCOM_NAME」が設定されています。

市町村名と農業集落名など、複数の属性情報を表示する場合は、表示したい内容を式で指定します。

1 ラベルタブを選択して「ε」ボタンをクリックします。

2 右の「フィールドと値」から項目を追加します。項目間には「||'¥n' ||」を入力します。

「||」は文字列の連結、「¥n」は改行を意味します。

式: "CITY_NAME" ||'¥n' ||
"KCITY_NAME" ||'¥n' ||
"RCOM_NAME"

フィールドと値:

symbol_color	value
ジオメトリ	
データ構造 (配列)	
ファイルとパス	
フィールドと値	
feature	
geometry	
id	
NULL	
abs	KEY
abs	PREF
abs	CITY
abs	KCITY
abs	RCOM
abs	PREF_NAME
abs	CITY_NAME
abs	KCITY_NAME
abs	RCOM_NAME
abs	RCOM_KANA
123	HININTEI
1.2	データファイル_65歳以上高齢的...
1.2	データファイル_地域類型1次分類

⑨ 農業集落の属性情報を確認したい

選択した農業集落の情報を、サイドパネルに表示させます。

1 レイヤパネルで集落境界を選択します。

2 「地物情報表示」のアイコンをクリックします。

3 地図上で農業集落を選択するとサイドパネルに「地物情報」が表示されます。

地物情報:

MA0001_20...	値
PREF_N...	山形県
(27...	
KEY	0620207002
PREF	06
CITY	202
KCITY	07
RCOM	002
PREF...	山形県
CITY...	米沢市
KCIT...	三沢村
RCO...	赤芝
RCO...	あがしほ
HINL...	0